

経営比較分析表（令和元年度決算）

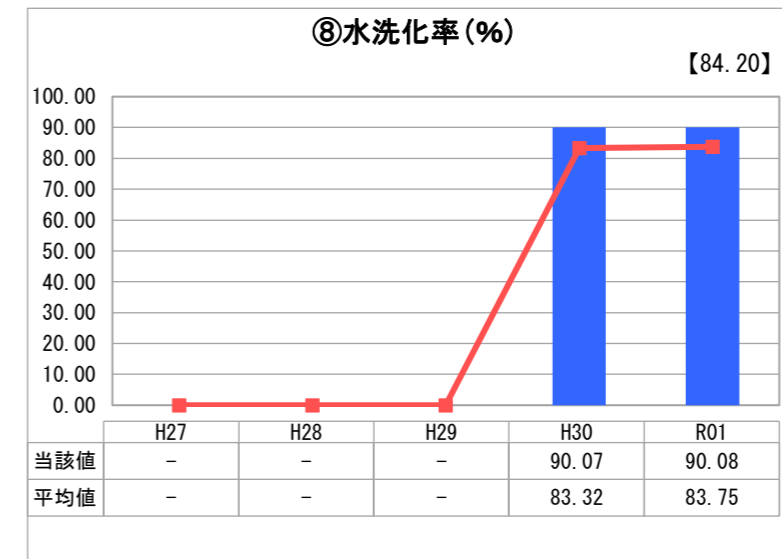
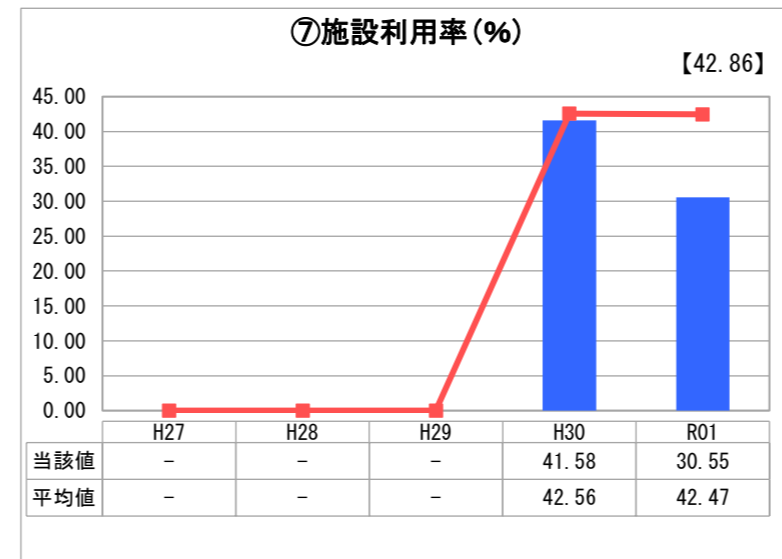
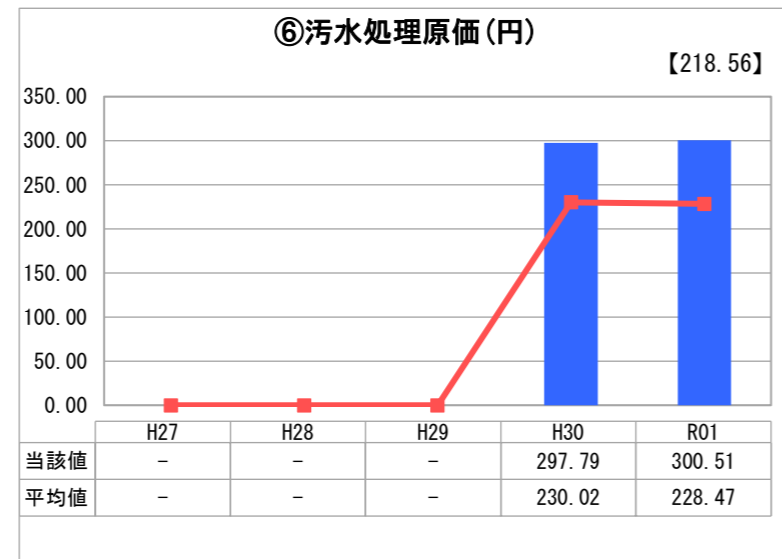
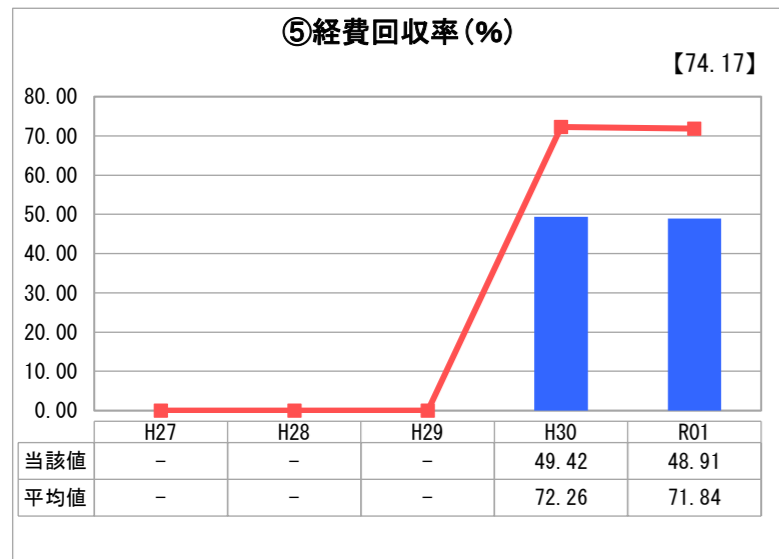
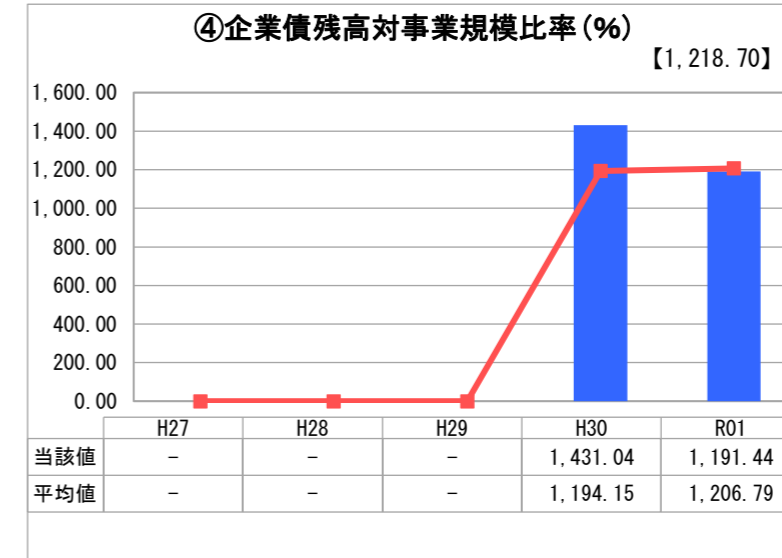
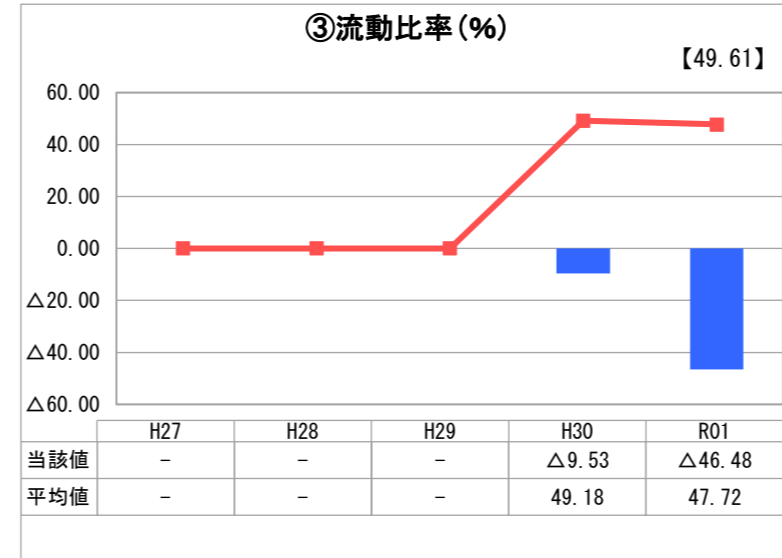
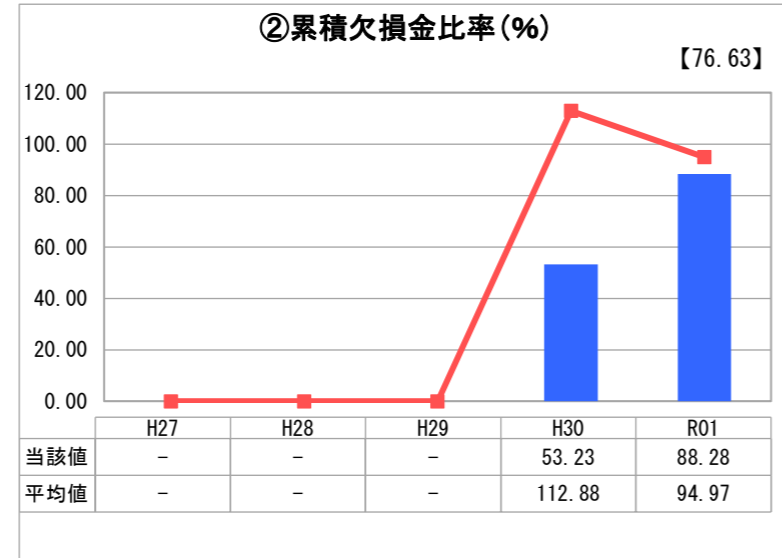
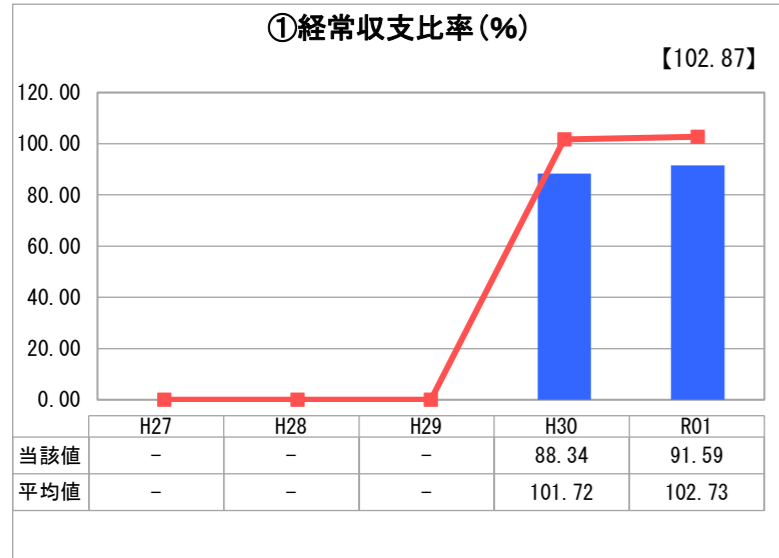
兵庫県 洲本市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	45.83	3.07	99.29	2,530

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
43,316	182.38	237.50
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,320	0.61	2,163.93

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
[]	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

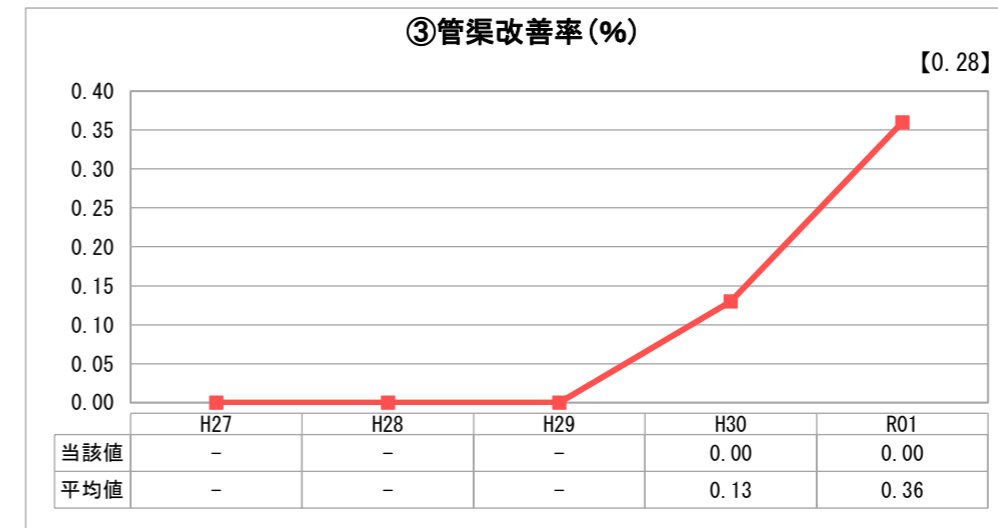
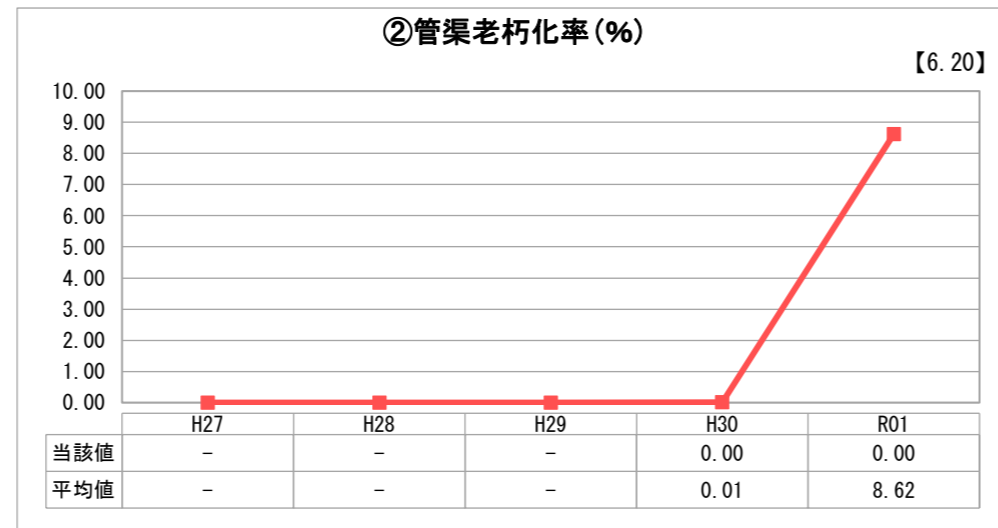
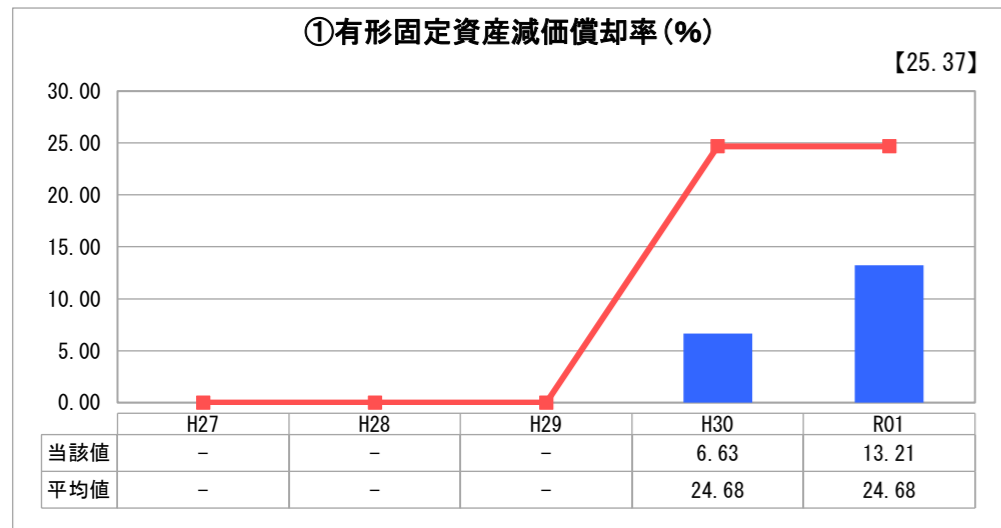
1. 経営の健全性・効率性について

特環下水道事業は平成30年度から地方公営企業法を適用（財務適用）しています。
 ①経常収支比率は「91.59%」です。今後も横ばいとなる見込みであり、少しでも改善されるよう、経費削減、使用料の回収に努めます。
 ②累積欠損金比率は「88.28%」です。地方公営企業法適用した平成30年度決算から初めて算出される比率であり、累積がないため、類似団体平均を下回っていると考えられます。
 ③流動比率は「△46.48%」です。特環下水道事業単独では資金不足が発生しており、公共下水道事業の資金を投入している状況です。
 ④企業債残高対事業規模比率は「1,191.44%」です。類似団体平均を下回っていますが、新たな投資計画があることから、今後は微増すると考えています。
 ⑤経費回収率は「48.91%」です。類似団体平均を下回っているため、経費削減と使用料の回収により、改善を図ります。
 ⑥汚水処理原価は「300.51円」です。類似団体平均を上回っています。今後は接続率の向上、経費削減を行い改善を図ります。
 ⑦施設利用率は「30.55%」です。類似団体平均を下回っているため、接続率の向上により、改善されるよう努めます。
 ⑧水洗化率は「90.08%」です。類似団体平均を上回っていますが、更なる水洗化率向上に努めます。

2. 老朽化の状況について

本市の特環下水道事業は平成11年から供用を開始しているため、経過年数が少なく、減価償却率は類似団体平均を下回っています。管渠に関して法定耐用年数を超えるものもなく、軽微な修繕で済んでいます。
 処理場の施設に関しては、長寿命化工事等で計画的に大規模改修を行い、修繕費用の平準化及び低コスト化に努めています。

2. 老朽化の状況



全体総括

本市の特環下水道事業は一般会計からの基準外繰入金と公共下水道事業からの資金投入により、運営を行っている状況です。
 特環下水道事業単独での資金確保を目指すため、更なる経費削減と使用料収入の確保を図る必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。